

第38号

平成28年1月15日

すもと

市議会だより

申年にちなんで…猿による「サル」文字

(淡路島モンキーセンター)

12月定例市議会の概要

常任委員会の動き(2)~(5)

討論・請願(6)

議決結果・議会日程

議会用語(7)

一般質問(8)~(12)

視察の受け入れ(12)

新年あいさつ・議員研修(13)

議会報告会(14)

目
次



編集発行 洲本市議会 洲本市本町三丁目4番10号 TEL.0799-22-3321(代) FAX.0799-22-3092

ホームページ <http://www.city.sumoto.lg.jp/> 洲本市議会

検索

旧特別支援学校

平成24年3月に閉校した特別支援学校は、敷地面積約1万5,200m²に、校舎3棟や体育館などを備えており、閉校後は使用されていませんでした。洲本市は、隣接の市有地と等価交換し、企業誘致の交渉をしてきましたが、このほど契約がまとまつたもので

どとなっています。

☆企業名 浜田化学株式会社
☆事業内容 加工食品等製造販売業、厨房清掃等コンサルタント事業、バイオ燃料製造販売事業、バイオ燃料製造技術展開事業など
☆事業概要 年間売上：7億円（中期予定）
操業開始：平成29年度予定
新規雇用：30名（予定）



左奥が旧兵庫県立淡路特別支援学校用地(五色町下塚)、手前建物は五色精光園児童寮

さらに、大昭和精機株式会社の物流センターが新しく建設されることで、本市の企業誘致条例に該当し、奨励措置などの支援が決まりました。

また、ふるさと納税（ふるさと納税）が好調なことから、ふるさと納税にかかる地元产品的購入費など7,500万円を計上しました。

続いて、本市の10倍の人口を持つ長崎市へ。路面電車が昭和の風情を残す、坂の多いまちです。平成24年10月、モナコ、香港と共に「世界の新三大夜景」に選ばれ、稲佐山からの夜景は、すり鉢状の地形が生み出す立体的な美しさが特徴的。駐車場や展望台の整備、ロープウェイの修理に

もつと支援寄附金（ふるさと納税）が好調なことから、ふるさと納税にかかる地元产品的購入費など7,500万円を計上しました。

もつとすばらしいのは、市民の皆さんの協力を得、公立病院や保育所などの運営を民営化し、市の財政を大幅に改善したことです。行うは難しく、でも努力を続ければ、大きな壁も乗り越えられると勇気づけられました。

◆視察先…長崎県大村市
長崎県長崎市
11月5日、本市の3分の2の広さに2倍の人口が暮らす大村市を訪問。歴史文化や自然に恵まれ、多くの観光客が訪れていますが、滞在時間が短いため、宿泊客を誘致しようと努力されています。でも

あれほどの大都市でありますから、進む人口減少対策にと前向きに観光振興に取り組み、コツコツと努力を続けています。その姿勢が、とてもすばらしかった。

行政視察報告

観光振興について



教育民生常任委員会

議案審査

議案6件を審査

居を移転して、送迎の必要がなくなったためである。

行政視察報告

認定こども園などを調査

12月8日に委員会を開催し、平成27年度一般会計補正予算など6件の議案の審査を行いました。各議案に対しても詳しく述べました。

た。

Q 中川原小学校区の放課後児童クラブの開設準備として補正予算が計上されているが、開設済みの児童クラブも含めて、募集の受け付けは。

1月号で募集などを掲載する。

Q 補正予算で、小学校費の教育振興費が減額され、ゼロになっているが、今年度だけか、その理由は。

A (教育委員会) 上灘の児童2人について由良小学校までの送迎を委託していたが、住

妙高市は、平成17年に新井市が、妙高高原町、妙高村を編入し改称しました。

また、訪問

した、幼保連携認定こども園「よつばこども園」は、

本年4月に新

井北幼稚園・第一保育園・



◆ 観察先：新潟県妙高市
長野県上田市

10月28日、認定こども園の建設と運営についての観察の

結果、全ての議案を全会一致で可決すべきものと決しました。

合わせて、172名。園長・保育教諭・調理員の職員、計39名で運営しています。施設としては、建屋は2階建て耐雪式を採用。保育室としては、0歳児から5歳児まで年齢別に確保しています。屋外に園庭・築山・各種遊具・プールのほか、子どもたちが自ら耕

水上保育園の三園が統合して開園。

園児数は、一号認定（従来の幼稚園児）、二号認定（従来の三歳以上保育園児）、三号認定（従来の三歳未満保育園児）

を見据えた健康づくり事業について視察しました。特に、平均寿命が健康寿命となるための「健康幸せづくりプロジェクト事業」では、方向性として、糖尿病など生活習慣病の発症を抑えることを主眼としており、その展開を調査しました。

事業では、①子どもの健康

は、他に一園が開園されており、今なお2つの認定こども園の開園を検討中でした。

上田市では、超高齢化社会

を見据えた健康づくり事業について視察しました。特に、平均寿命が健康寿命となるための「健康幸せづくりプロジェクト事業」では、方向性として、糖尿病など生活習慣病の発症を抑えることを主眼としており、その展開を調査しました。

両市の取り組みは、本市においても共通の課題であり、改めて重要性を認識しました。

この日は、市道路線の変更について、市道宇原千草線の終点変更地点と訴訟の提起について、炬口ファイツシャリーナの調査を実施しました。

この日は、市道路線の変更について、市道宇原千草線の終点変更地点と訴訟の提起について、炬口ファイツシャリーナの調査を実施しました。

審査した結果、議案第71号・72号については賛成多数により、その他の議案については全会一致により可決すべきものと決しました。

づくり支援の体制強化②若い世代からの健康づくり支援の推進③楽しみながら続ける健康づくり支援の構築④ウォーキングなどによる、身近な地域での健康づくり支援の推進

請願



反対

【議案第71号】
【議案第72号】

近藤昭文(日本共産党)

農業委員会法の改正で、なぜ農業委員の公選制を廃止し、市町村長が議会の同意を得て任命するのか。なぜその地域に住所がなく、農業に従事していない人をも農業委員に任命できるようにするのか。定数も削減される。

農地に営利企業が参入しやすいように、農業委員会を変え、任命する側の意に添う人を農業委員に選任することになるのではないか。企業的な農業へ道を開く選任制には同意しかねる。

賛成

上田昌孝(志)

12月定例市議会では、次の2件の請願が審議されました。
請願第2号 「所得税法第56条の廃止を求める意見書」についての請願

請願第3号 水道施設耐震化の推進に対する支援の充実・強化等を国に求める意見書提出の件

請願第3号 審査を付託された総務常任委員会では、紹介議員が趣旨を説明し、請願第3号については請願者が願意を述べ、その後質疑を交え委員会としての意見が取りまとめられました。これを受けて本会議第3日に請願を上程。

請願第2号については別記の討論がなされましたが、採決の結果、賛成少数により不採択と決しました。請願第3号については、全会一致により採択と決し、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

討論

反対

中野睦子(志)

全国で1割程度であり、制度自体が形骸化していることは明白である。委員19名には、認定農業者が半数以上、公平上選ばれ、また推進委員18名が委嘱され、現行制度と比較しても十分な体制であると考える。

【請願第2号】

賛成 間森和生(日本共産党)

反対

先田正一(公明党)

所得税法第56条は、親族への経費の支払いを認めないというもので専従者控除のみ認めているが、青色申告をすることにより実質の給与支払い額を第57条で認めており、他にも経費の特例を認めている。家族、特に女性の労働の対価として、あまりにも低く差別であると言うならば、配偶者控除の見直しなども併せて見直しを行うべきであり、第56条のみの廃止には賛成いたしかねる。

関係法律が成立・公布されるための条例制定であり、農業委員が、公選制から、市長が議会の同意を得ての任命制になる。公選制の実施は、

平成28年4月1日より施行される。請願第2号の討論がなされましたが、請願第3号については請願者が願意を述べ、その後質疑を交え委員会としての意見が取りまとめられました。これを受けた本会議第3日に請願を上程。請願第2号については別記の討論がなされましたが、採決の結果、賛成少数により不採択と決しました。請願第3号については、全会一致により採択と決し、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

所得税法第56条は、親族への経費の支払いを認めないというもので専従者控除のみ認めているが、青色申告をする

議案等の議決結果

【全会一致により可決・採択】

- 議案第57号 平成27年度洲本市一般会計補正予算（第2号）
議案第58号 平成27年度洲本市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第59号 平成27年度洲本市由良財産区特別会計補正予算（第1号）
議案第60号 平成27年度洲本市納、鮎屋財産区特別会計補正予算（第1号）
議案第61号 平成27年度洲本市堺財産区特別会計補正予算（第1号）
議案第62号 平成27年度洲本市土地取得造成特別会計補正予算（第1号）
議案第63号 平成27年度洲本市下水道事業特別会計補正予算（第1号）
議案第64号 平成27年度洲本市介護保険特別会計補正予算（第3号）
議案第65号 洲本市及び津名郡五色町の廃置分合に伴う地域審議会の設置に関する協議により定められた事項を変更する条例制定について
議案第66号 洲本市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例制定について
議案第67号 被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
議案第68号 洲本市税条例等の一部を改正する条例制定について
議案第69号 洲本市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
議案第70号 洲本市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
議案第73号 公の施設に係る指定管理者の指定について（市民交流センター）
議案第74号 奨励措置の適用に係る事業所の指定について（企業誘致）
議案第75号 財産の処分について（五色町下堺：企業用地）
議案第76号 洲本市新庁舎等建設工事請負変更契約締結について
議案第77号 訴訟の提起について（炬口フィッシュリーナ不法係留）
議案第78号 市道路線の変更について（市道宇原千草線）
議案第79号 新市建設計画の変更について
議案第80号 洲本市過疎地域自立促進計画の策定について
請願第3号 水道施設耐震化の推進に対する支援の充実・強化等を国に求める意見書提出の件
意見書案第1号 水道施設耐震化に対する支援の充実・強化等を求める意見書

【賛成多数により可決】

- 議案第71号 洲本市農業委員会委員等定数条例制定について
議案第72号 農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

【賛成少数により不採択】

- 請願第2号 「所得税法第56条の廃止を求める意見書」についての請願

議会日程

- 平成27年
- 11月26日 告示 常任委員長会
 - 11月30日 議会運営委員会
 - 議会報編集特別委員会
 - 12月3日 本会議第1日(一般質問4議員)
 - 議会運営委員会
 - 12月4日 本会議第2日(一般質問4議員)
 - 12月7日 産業建設常任委員会
 - 12月8日 教育民生常任委員会
 - 12月9日 総務常任委員会
 - 12月10日 議会運営委員会
 - 12月11日 本会議第3日(討論、採決)
議会運営委員会
- 平成28年
- 1月4日 議会報編集特別委員会

知りておきたい

議会用語



請願

請願とは、国や県、市の行政に対して、このようにしてほしい、またはしないでほしいと申し出ることを言い、日本人であっても、外国人であっても、住民であってもなくても請願をすることができます。地方議会では、議長あてに議員の紹介により請願書を提出します。

請願書が議会に提出されると、担当する常任委員会で審査し、委員会の結論をもとに本会議で審議の上、原則として採択、不採択のいずれかを決定します。採択された場合、議会から意見書が執行機関に送付されますが、請願に沿った措置がとられるかどうかは、権限を有する執行機関が最終的な判断をすることになります。

ズバリ!! そこが聞きたい

近藤 昭文 P.8

- 畜産振興について
- 農業振興について
- 子ども・子育て支援について

木戸 隆一郎 P.9

- 定住促進について
- 若者雇用対策、起業支援について
- ふるさと納税の活用について

先田 正一 P.9

- 市街地周辺の活性化について
- 省エネ対策・照明のLED化について
- 高齢者の就労支援について

片岡 格 P.10

- サマーレビュー2014での事業見直しについて
- 平成26年度決算特別委員会の指摘事項について
- 事業評価と予算編成について

平郡 平 P.10

- 異常天候時の防災対策について

間森 和生 P.11

- 過疎地域自立促進計画について
- 子ども子育て新制度移行後の変化について

小野 章二 P.11

- 安全・安心について
- 行政改革と事業の進捗について
- 洲本市総合戦略について

中野 晴子 P.12

- 福祉を中心とした新しいまちづくりについて
- 観光振興について
- 洲本市総合戦略について



▲黒毛和牛飼育の畜産農家

A 貸付などの各種支援事業は、頭数の確保や生産性向上に寄与していると考えております。要

Q 畜産農家の後継事業の今後の見通しは。

A 本市の畜産業は、但馬牛の一大生産拠点を担い、地域の水田農業を維持していくという観点でも、必要不可欠と考えている。

Q 畜産振興の基本的な考え方には。

畜産振興

望みを踏まえながら必要な支援を講じていく。複合経営の繁殖農家を支え、多頭経営体の育成、確保をいかに図っていくかが

課題であり、重要な考え方である。

(農林水産部次長)



近藤昭文 (日本共産党)

Q 畜産農家の後継者の育成、対策は貸付事業拡大、関係機関と連携強化

A 望みを踏まえながら必要な支援を講じていく。複合経営の繁殖農家を支え、多頭経営体の育成、確保をいかに図っていくかが課題であり、重要な考え方である。

（農林水産部次長）

Q 農業振興

TPPは、農林漁業への影響のみならず、食の安全、医療制度、保険など国民生活に広く

JJAなど関係機関と連携して取り組んでいく。

(農林水産部次長)

A 放課後児童クラブについて、定員が超過し、希望者が多い地域の今後の拡充などは。

Q 子ども子育て支援

対象学年の拡大については、事業に適した施設を確保していく必要があり、面積要件を満たしたクラブから対象を拡大していく。(健康福祉部長)



Q サマーレビューの推進で事業に影響は
A 施設の目的に反するとは考えていない

片岡

格（日本共産党）



▲淡路鉄道展が行われている淡路文化史料館

A 一つは人口減少によるもの。もう一つは一寸化による活字離れ、読書離れがある。国民の47%が、1年に1冊も本を読まないと言

Q 図書館利用者減少の理由について。

A 一つは人口減少によるもの。ただ、社会情勢や市民団体などにより、施設においては縮小・廃止に至る場合もある。（理事）

A 選択と集中により、一層必要な事務事業を重点化し、質的向上を図ることとは、設置目的」反するとは考えていない。ただし、社会情勢や市民二ーズなどにより、施設においては縮小・廃止に至る場合もある。（理事）

A 淡路鉄道展は2週間でのみの召喚であり、そのために市のホームページの工夫、マスコミの活用によるPRが大事

Q 平成30年をめどに行政経費を10%削減するとあるが、条例に定める事業目的達成が困難になるのではないか。

A 行政経費を10%削減するとあるが、条例に定める事業目的達成が困難になるのではないか。

サマーレビュー

平成30年をめどに行政経費を10%削減するとあるが、条例に定める事業目的達成が困難になるのではないか。

われの中で、学校現場では、朝10分間の読書活動を展開しており、大人になつて成果が出していくと思っている。（教育長）

館があり、やはり新聞に連日取り上げていただく効果が大きい。またいろいろな事業の機会にPRさせていただいている。（教育長）

今後も来客増に努めていく。（教育長）

（総務部長）

Q 異常天候時の防災対策は
A 早期避難をお願いしたい

平郡

平（「志」）



▲もし越水すれば

A 早めの対応は市としても実践している。経済事情から支払いが困難な方には、その状況により、分割納入などの納税相談を行っている。（理事）

Q 避難行動に際し、避難準備情報、避難勧告、避難指示など同じような言葉が混在している。もっと容易に避難行動ができる独自の言葉で表せないか。

A 気象関連法規や災害対策基本法に基づく用語で、変更することができない。今後どのようにして発表、発令さ

れる性質のものかを、市民の皆さんに十分理解をいただけるよう、常日ごろから防災学習会や訓練において周知、啓発に努める。（総務部長）

い掘込河道も多くある。豪雨による流化能力を超えた場合、掘込河道は溢れ現象が起らるしかねず。これに対するハード事業には限界があり、浸水予測地域はハザードマップで知らせている。災害の備えとして、行政の対策と地域の皆さん自身の対策を連携して備えていくことが肝要と考える。（都市整備部長）

失敗を恐れずに、早期の避難指示をすべきでは。（総務部長）

正確かにつ急速な情報提供が大変重要である。早期の避難準備情報、避難勧告、避難指示の発令は重要と十分認識し、空振の恐れない早期での避難情報の発令を、今後も意識して実行すべきと考へる。また、自分の身は自分で守るという自助の精神を一人ひとりに持つていただきことが何よりも重要で、そのことは減災につながると考えられる。（総務部長）



Q 異常天候時の防災対策は
A 早期避難をお願いしたい

平郡

平（「志」）



▲ウェルネスパーク五色

A 施設のメンテナンスや職員のおもてなしの観光資源や元気な商店づくりと連携して観光促進を図ってほしいが。

A 五色を拠点に、地域の観光資源や元気な商店づくりと連携して観光促進を図ってほしいが。

A 五色地域に有利な過疎債を有効に活用して、一生懸命事業をす

Q ほ場整備の現状と今後の推進計画は。

A 兵庫県の整備率は77%、本市は47%、五色地域は58%である。いくつかの課題もあるが、地域からの問い合わせもあり、推進に努力したい。

A 全域で問題になってしまっている。(都市整備部長)

A 引き上げが、再来年度まで予定されているが、子育て施策の充実から考へると逆行するのでは。

A 77%、本市は47%、五色地域は58%である。いくつかの課題もあるが、地域からの問い合わせもあり、推進に努力したい。

A 19路線の整備を計画している。継続は13路線、新たに6路線を計画。(都市整備部長)

A 経常的に保育延長の利用者より保育料の負担が多くなる場合があるのです。

A 市民の皆さまの協力を得ながら、県・島内3市・洲本警察署・防犯協会・地域の防犯グループなどの関係機関との連携をさらに深め、一層の防犯対策に取り組んでいきたい。(市民生活部長)

Q ほ場整備の現状と今後の推進計画は。

A 生活道路である五色地域の市道整備状況は。

A 8時間の認定で保育所を利用している保護者が、延長保育を利用すると、標準の11時間の利用者より保育料の負担が多くなる場合があるのです。



間 森 和 生（日本共産党）

Q 過疎債で五色地域の自立促進を地域に有利な事業をすすめたい

A 「ふるさと納税」返礼品の供給責任は品質を管理し、寄附者の方に心配りを



A 合併して10年、五色地域で安心して暮らせる促進計画を推進していただきたいと考えるが。

A 五色地域に有利な過疎債を有効に活用して、一生懸命事業をす

Q 幼稚園の保育料の引き上げが、再来年度まで予定されているが、子育て施策の充実から考へると逆行するのでは。

A 人事評価制度の導入は。

A 新庁舎は、震度7の地震にも耐えられるよう、積層ゴム型免震装置を採用している。杭工事の施工についても、すでに施工計画に基づくチェックを実施済で施工面、安全面などに問題はない。

A 市民の皆さまの協力を得ながら、県・島内3市・洲本警察署・防犯協会・地域の防犯グループなどの関係機関との連携をさらに深め、一層の防犯対策に取り組んでいきたい。(市民生活部長)

Q 新庁舎建設に係る耐震対応と杭工事の安全確保は。

A 非合法団体への対応は。



小野章二（「志」）

Q 「ふるさと納税」返礼品の供給責任は品質を管理し、寄附者の方に心配りを

A 3市で共通する水道、消防などについてでは、広域行政で取り組んでいる。淡路島定住化圏形成には、淡路市と取り組んでいる。今後長期的な人口減少が予想される中、近隣市との連携・協力に努める。

A 同一世帯の複数の子が利用する場合軽減措置がある。負担感のないよう配慮している。

A 高揚、資質向上につなげ、満足のいくサービスを提供できる人材の育成

Q 淡路3市の連携は。

A 平成28年4月から運用を開始するため、準備に取り組んでいる。この制度は、職員の士気

A 檻に満足のいい

A 檻に満足のいい

を図つたらしい割合でござる。

A 領域が無いことを確認してい。



A 洲本市のいいところは
自然や歴史、地域資源などの魅力

中野の睦子（志）

福祉を中心としたまちづくり

観光振興

場三熊山、洲本城などにつ
ては、今後は自然や歴
史、地域資源など、まち
全体の魅力をPRしたい。

本市では、全国各地の地方自治体議
会から、行政視察の依頼を積極的に受
け入れています。
他の自治体と情報交換ができ、本市

全国から行政視察に来訪

の取り組みに対し意見や助言をいた
だけるなど、行政視察は議会活動の向
上に役立っています。

Q 医師会など医療関
係団体との連携は。

Q 今年度の観光の現
状分析と今後の展望と対策は。

本市では、全国各地の地方自治体議
会から、行政視察の依頼を積極的に受
け入れています。
他の自治体と情報交換ができ、本市

A 夜間診療をはじめ、
健康福祉全般の事業推進
に、「ご支援、ご協力をい
ただいています。

A 夏以降、台風や大
雨の襲来が少なく、比較的天候に恵まれた。

本市では、全国各地の地方自治体議
会から、行政視察の依頼を積極的に受
け入れています。
他の自治体と情報交換ができ、本市

Q 保健事業、休日・
夜間診療をはじめ、
健康福祉全般の事業推進
に、「ご支援、ご協力をい
ただいています。

A 夏以降、台風や大
雨の襲来が少なく、比較的天候に恵まれた。

本市では、全国各地の地方自治体議
会から、行政視察の依頼を積極的に受
け入れています。
他の自治体と情報交換ができ、本市

A 家族だけに負担が
かかるない、在宅医
療や介護への取り組みは。

A 雨の襲来が少なく、比較的天候に恵まれた。

本市では、全国各地の地方自治体議
会から、行政視察の依頼を積極的に受
け入れています。
他の自治体と情報交換ができ、本市

Q 高齢者が、できる
限り住み慣れた地域
で、安心して自分らしい
生活ができるよう、介護支
援、訪問介護や通所介護・
ショートステイに加え、
食事・入浴などの介護支
援、福祉用具の貸与、住
宅改修の支援などを行つ
ている。（健康福祉部長）

A 雨の襲来が少なく、比較的天候に恵まれた。

本市では、全国各地の地方自治体議
会から、行政視察の依頼を積極的に受
け入れています。
他の自治体と情報交換ができ、本市

Q 観光客が行きたい、
見たいところについて
て、どの程度動向をつか
んでいるのか。また、ど
こをPRしたいと思って
いるのか。

A 今後は、地域資源にさら
に磨きをかけていく。

本市では、全国各地の地方自治体議
会から、行政視察の依頼を積極的に受
け入れています。
他の自治体と情報交換ができ、本市

A 昨年度の資料では、
洲本温泉が圧倒的に
多く、次いでウエルネス
パーク五色、大浜海水浴



▲今後、観光資源として期待される旧益習館庭園



▲ エネルギーパーク洲本の視察風景

行政視察の受け入れ状況（平成27年10月～12月）

| 月 日 | 議 会 名 | 人 数(人) | 調 査 内 容 |
|---------|-------------|--------|------------------------------------|
| 10／ 6 | 北海道名寄（なよろ）市 | 7 | バイオマス産業都市構想について |
| 10／14 | 埼玉県加須（かぞ）市 | 6 | お帰りなさいプロジェクトについて エネルギーパーク洲本について |
| 10／26 | 福島県会津若松市 | 6 | いきいき百歳体操について |
| 10／26 | 京都府八幡（やわた）市 | 12 | 新庁舎建設と市議会の関わりについて |
| 11／ 4 | 東京都清瀬市 | 7 | エネルギーパーク洲本について |
| 11／ 5 | 福岡県古賀市 | 3 | バイオマス産業都市について |
| 11／9～10 | 北海道滝川市 | 4 | エネルギーパーク洲本について お帰りなさいプロジェクトについて |
| 11／11 | 兵庫県揖保郡太子町 | 7 | JV方式による入札の状況について |
| 11／11 | 岩手県陸前高田市 | 7 | バイオマス産業都市の取り組み |
| 11／11 | 兵庫県丹波市 | 3 | 定住促進事業について |
| 11／18 | 宮城県大崎市 | 10 | 防災対策について |
| 11／19 | 京都府福知山市 | 5 | 定住自立圈構想について |

※人数には議会事務局の随行者などを含んでいます。

新年あいさつ

議長 笹田 守



副議長 柳川 真一



を策定いたしました。今後は大きな4つの柱である「雇用の確保」「定住・交流人口の増加」「結婚・子育て支援」「安心・安全なまちづくり」事業の実施をしていくこととなります。

こうした重要な課題に対する事業の推進にあたっては、行政だけではなく、市民や地域団体、企業などとの連携・協働による取り組みが求められます。

市議会としましても、改革、活性化に積極的に取り組み、二元代表制における役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに皆さまの負託と信頼に応えるべく、全力を尽くしてまいります。

新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆さんには、輝かしい新年をご家族お揃いでお健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃より、市政の発展と議会運営に対しまして、ご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本市では人口減少や少子高齢化の対策として、10月末に「洲本市総合戦略」

を策定いたしました。今後は大きな4つの柱である「雇用の確保」「定住・交流人口の増加」「結婚・子育て支援」「安心・安全なまちづくり」事業の実施をしていくこととなります。



議員研修 タブレット導入を検討

議員研修

11月25日、タブレットを活用した、議事次第型投票機能搭載ペーパレス会議システムについて学びました。タブレットを用いた議会運営では、ペーパレスや、製本などに係る人件費のコスト縮減だけでなく、迅速な進行が可能となり、膨大な資料の持ち運びも不要で、情報やデータをタブレットに入れておけば、どこでも閲覧することができるため、

実際に、全国でも導入されつあり、本市においてもICT推進検討委員会が9月に設置され、導入について議論を重ねています。その中で、実際に全議員にタブレットを手にとったてらい、その使い方やメリットを感じてもらうことで、より理解が深まると考え、本研修を実施しました。

今回試用したシステムでは、コスト縮減などのエコノミー、環境にやさしいエコロジー、固体認証などのセキュリティ、端末を使いこなすリテラシーの4つのメリットを掲げて、9月議会で実際に使った。また、実際の運用を想定し、読み込んだ資料の管理方法や、セキュリティ面、データの容量などの質問もあり、タブレットを用いた議会運営についての理解を深めました。

その後も変わらぬご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。市民の皆さま方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念し、新年にあたつてのごあいさつをスマートフォンを使用して、9月議会で実際に使った。また、実際の運用を想定し、読み込んだ資料の管理方法や、セキュリティ面、データの容量などの質問もあり、タブレットを用いた議会運営についての理解を深めました。



「深刻なイノシン被害対策は」

安乎連合町内会との共催で開催



▲具体的な地域の問題が出された議会報告会（安乎公民館にて）

10月30日、安乎公民館にて、安乎連合町内会との共催で第11回洲本市議会報告会を開催し、市民36名が参加しました。はじめに議長から、議会基

本条例に基づき開催したことなどと、また議会の活動内容を市民に報告し、説明責任を果たすとともに、市民から意見をいただき議会活動に生かすことを

目的に開催したことなどを述べました。

また共催である安乎連合町内会長から、「せつかくの機会なので皆さんから意見を出していただきたい。議員と市民の距離を近づけるものになるような機会に」と挨拶がありました。

その後、議会運営委員会、総務・教育民生・産業建設の各常任委員会、決算特別委員会から報告を行いました。

議会運営委員会からは議会の仕組みについて、また、現在ICT化に向け任意の委員会を設置し、タブレットを使ってペーパーレス化や情報の共有・獲得などを検討していることについて。

各常任委員会からは9月定例市議会をはじめ、閉会中の委員会の活動内容について、決算特別委員会からは平成26年度一般会計・特別会計決算認定について、各会計決算の内容などについての報告をそ



編集後記

◆新年、明けましておめでとうございます。本年は、昨年まとめた洲本市総合戦略5カ年計画が本格的にスタートします。また2月11日には、旧洲本市と旧五色町との合併10周年を迎える年には建設中の新庁舎が完成します。くしくも今年は「申年」。前述しました案件を進歩発展させる年であります。◆市議会が分かりやすく、読みたくなる議会報の編集に向けて、紙面の工夫に取り組んできました。昨年、より紙面の充実を図る目的で、外部の評価を得るために、前号の市議会だよりを、毎日新聞社主催の、近畿市町村広報紙コンクールに応募しました。結果は残念でしたが、審査員の方からの講評はとても参考になりました。◆これからも、市民の皆さまからのご意見、ご感想を聞かせていただき、より身近な議会報をめざします。（小野）